

野村史上初「陸上競技大会」

森 啓児

これまで「体育大会」という名でやってきた。

だが、今年は名前を変えての実施となる。それでも、みんなにとってはたった一回の本番だ。

この陸上競技大会に、みんながどう取り組むかによって、終わった後の充実感や達成感が変わると思う。このような状況での陸上競技大会だからこそ、成功させたい。

成功とは、ただひたすら走るだけではない。ということは、みんなもわかっていることだと思う。

みんなが元気よく、一生懸命取り組んでいる姿。それが一番大事なことだと思う。3年生にとって

最後の体育大会。名前こそ違うが、今までやってきた体育大会の集大成として頑張ってもらいたい。

去年の体育大会を覚えているだろうか。本番当日の早朝に雨が降っていたが、朝方に止んだ。

グラウンドに水溜まりが多く、PTAの人や野村中学生もみんな協力してくれ、みんなで水抜きをして本番を迎えた。

本番の開会式終了後に、当時の3年生の体育委員長の生徒が突然、先生のところにきて相談に来た。

何を言うかと思えば、

「先生。ここで俺の話入れていい？」という言葉だった。

「こんな天気やけど、みんな盛り上げて頑張ろー！ みんないくぞー！！」

と全員に声掛けしてくれた。成功させたい一心でその言葉が出たのだと思う。

結局、その日は、突然の大雨で延期になった。後日の体育大会では、開会式もやりなおすと、

同じことの繰り返しの中、その生徒の一言で、それ以外の生徒たちも一生懸命取り組み、

みんなで成功させた体育大会となった。その生徒の勇気ある姿がすごくかっこよく見えた。

そのような体育大会になったのも、彼のその一言があったからだと思う。

彼は自らの意志で野村を盛り上げてくれた。

今年も全員が一生懸命取り組む陸上競技大会を期待して、

先生は、審判台から君たちを見守っている・・・。

年 組 番 名前